

新春を 迎えて

—各会派からのごあいさつ—

区民の命と生活が第一

立憲民主党・無所属議員団

年頭のご挨拶を申し上げます。昨年も新型コロナウイルスの感染拡大による様々な困難と試練に直面した一年となりました。我が会派は区長への要望と提言を継続的に行い、ワクチン接種券の送付、特別定額給付金の支給は他区と比較しても非常に迅速な取組を実現することが出来ました。

基づき基本計画が策定されました。この計画の着実な推進こそが「子育て先進区」の実現など、区民福祉の更なる向上に繋がります。「つながる はじまる なかの」の区政が大きく前進します。酒井区政が進める区政を力強く後押しするとともに、行政の監視機能としての二元代表制の矜持を忘れることなく、区民の命と生活が第一の区政を実現して参ります。本年も一層のご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

構造改革後、子ども施設の見直しを

自由民主党議員団

新年おめでとうございます。年頭にあたり所感を申し上げます。区長就任以来膨らんだ、一般財源規模742億円を以前の687億円に戻すため、構造改革を打ち出しても、削減効果を数字で示せず計画性、実行性が全くありません。令和3年度の当初予算編成では、削減目標額を79億円に設定するも8億円に留まり、49億円余りの貯金を切り崩しました。にもかかわらず令和4年度予算では、50億円近い新規拡充事業を進めています。また12月には、現在18館ある

児童館を9つの中学校区に1館にするため、児童館4館を廃止する「中野区立児童館条例の一部を廃止する条例」を上程しました。小学校区に最低一つは未就学児が安心して遊べ、子育て相談の出来る場所が必要です。乳幼児親子の居場所を奪い、児童館を再編することは時期尚早で、更に議論が必要と考えます。なかの生涯学習大学の再編も、本来の存在意義をしっかりと考え、区民の声を聞いて進めるべきと考えます。今後も、厳しく区の姿勢を正してまいります。

区民と共に力強い前進の一年を

公明党議員団

初春のお喜びを申し上げます。長続いた緊急事態宣言が解除され、一定の落ち着きの中で新年を迎えることができました。コロナ禍で不安を抱く子供たちの心をはじめ孤立する高齢者の方々、未だ苦境にある区内事業者や活動が制限されている区内団体の方々への支援や変異株拡大に細心の警戒を図りながらの活気ある日常活動の再開など、山積する課題に対し、全力で取り組む区民の生活の安定を図らなくてはなりません。一方区政においては令和6年

の区役所新庁舎竣工と、その後の中野駅新北口駅前エリアの再整備を中心とする多額の財政出動が予定されます。区民サービスを低下させることなく、未来にわたり安定的な財政運営が行われるために、大胆な行財政の改革の断行が必須となります。我々公明党議員団は本年も徹して地域を歩き、小さな声に耳を傾け、新たな日常に向け、区民の皆様と共に力強く前進する一年として参ります。本年の皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

区民の命と暮らしを支える区政の前進を

日本共産党議員団

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスは、感染拡大こそ収まりをみせているものの第6波の訪れが懸念されるとともに、新たな変異株の感染など予断を許しません。中野区として3回目のワクチン接種の勧奨とPCR検査等の実施、保健所体制の強化及び医療機関等への支援は引き続き重要です。区が区民参加を掲げ、コロナ禍で浮き彫りとなった生活困窮の解消を意識し、子育て施策の推進をはじめ区民生活に寄り添う施策展開に努めてきたことは

評価できます。同時に国と都の動向を気にする余り、適時適切に独自施策を打ち出せずにきた点は改める必要があります。財政規律を重んじることがあっても、緊急的な対応を含めた積極的な財政出動は必須と考えます。年明け早々の議会では、子どもの権利や「人権及び多様性」、公契約に係ることなど、区民の権利向上を図る条例制定が期待されます。今年は前向きな変化をつくってきた区政の前進が問われる年です。区民の声が生きる区政を目指して奮闘します。

区民が笑顔で元気になる区政運営を

都民ファーストの会中野区議団

新年あけましておめでとうございます。来年度から、中野区で東京都から移管された児童相談所が開設されます。年々増加する虐待通報件数に対して、東京都と共に一丸となって、この課題に取り組んでいく所存であります。

児童館の在り方についても、明確なビジョンを示すように議会から求めて参りました。子どもや高齢者を守るために必要な施設や仕組みを、現場の方々からの意見を参考にしながら、議会からも提案して参ります。また、高齢者の学びの場でもあります。また、高齢者の学びの場でも、なかの生涯学習大学についても、仲間作りと生きがいを見つける場としての再編を求めているところですが、独居高齢者が増えている中、家の中に閉じこもるのではなく、そこに行けば仲間がいる、楽しい時間を過ごせるといった場を作る必要があると考えっております。コロナ禍の中ではありますが、子どもや高齢者をはじめとする区内在住者が、笑顔で元気になる区政運営を、私達は引き続き、議会の側から訴えて参ります。